

招 集 期 日	令 和 2 年 2 月 1 2 日 (水)		会 議 の 場 所	教 育 委 員 室
会 議 の 時 刻 及 び 宣 告 者	開 会 の 時 刻	午 後 1 時 3 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉 会 の 時 刻	午 後 3 時 0 0 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	平 野 博 之 委 員	出 席	
柿 沼 拓 弥 教 育 長 職 務 代 理 者	出 席	岩 崎 智 子 委 員	出 席	
高 瀬 賢 一 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	川 島 学 校 教 育 部 長	寺 崎 生 涯 学 習 部 長	須 永 教 育 総 務 課 長	矢 野 学 校 教 育 課 長
	小 島 学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	岡 田 生 涯 学 習 課 長	水 野 ス ポ ー ツ 振 興 課 長	奥 野 図 書 館 長 兼 郷 土 資 料 館 長
書 記 名	教 育 総 務 課 総 務 係 横 山			傍 聴 人 な し
会 議 事 件 名	て ん 末			
開 会	教 育 長	2 月 定 例 教 育 委 員 会 を 開 会		
日 程 第 1 前 回 会 議 録 の 承 認	教 育 長	<p>教 育 委 員 会 の 会 議 は 公 開 が 原 則 と な っ て い る が、人 事 に 関 す る 事 件 等 に つ い て 出 席 委 員 の 3 分 の 2 以 上 の 多 数 で 議 決 し た 場 合 は 非 公 開 と す る こ と が で き る。本 日 の 日 程 に お い て、報 告 事 項 1 は 児 童 生 徒 の 個 人 情 報 を 含 む た め、協 議 事 項 2 は 卒 業 生 へ 向 け て の 告 辞 で あ り 卒 業 式 前 に 公 開 す る べ き で は な い た め、議 案 第 2 号 及 び 議 案 第 3 号 は 議 会 の 議 決 を 経 る べ き 議 案 の た め、非 公 開 と し て よ ろ し い か。</p> <p>異 議 な し の 声 あ り</p>		
	教 育 長	<p>報 告 事 項 1、協 議 事 項 2、議 案 第 2 号 及 び 議 案 第 3 号 は、非 公 開 と す る。</p>		
	教 育 長	<p>1 月 定 例 教 育 委 員 会 の 会 議 録 に つ い て 諮 っ た。</p> <p>異 議 な し の 声 あ り</p>		
	教 育 長	<p>前 回 会 議 録 は、承 認 さ れ た 旨 宣 し た。</p>		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 報告事項1 令和元年度第2回生徒指導に関する調査結果について</p> <p>報告事項2 令和元年度 第3回全国プレゼンテーションコンクールin羽生結果について</p>	<p>教育長</p> <p>教育総務課長</p>	<p>報告事項1は、会議を非公開とする。傍聴人はあるか。</p> <p>傍聴人はない。</p> <p>会議非公開</p>
	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>これより、会議を公開する。</p> <p>報告事項2について、学校教育課長から説明を求めた。</p> <p>1月18日に産業文化ホールにて開催した。</p> <p>日本語の部の小学校については、最優秀プレゼン清水卯三郎賞は京都府福知山市立惇明小学校で、女子児童一人での発表であった。優秀賞は羽生市立須影小学校、審査員特別賞は羽生市立羽生北小学校が受賞した。中学校については、最優秀プレゼン清水卯三郎賞は、テレビ会議システムで参加した滋賀県守山市立守山南中学校で、男子生徒一人での発表であった。審査員特別賞は幸手市立幸手中学校が受賞した。外国語の部については、最優秀プレゼン清水卯三郎賞は行田市立南河原小学校と埼玉県開智未来中学校、審査員特別賞は羽生市立西中学校が受賞した。</p> <p>昨年度を上回る34校の参加があり、950人を超える参会者に恵まれ、盛大に開催された。懸念された午後の観客減少もほとんどなく、最後までご観覧いただいた方が多かった。小学校、中学校を分けない進行により、特に小学生が中学生のプレゼンテーションを見ることで、良い刺激になったと考える。回を追うごとに参加校数が増えてきているため、発表校の精選が課題である。来年度も引き続き、中身の濃い、より良いプレゼンテーションコンクールとなるよう準備を整えていきたい。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項3 給食センター職員による学校訪問の結果について</p>	<p>教育長 学校給食センター所長</p>	<p>報告事項3について、学校給食センター所長から説明を求めた。</p> <p>令和元年10月7日から令和2年1月24日までの期間で全小中学校を訪問した。</p> <p>小学校では、栄養教諭と調理員とで、クイズを織り交ぜながら給食のできるまでを写真等で説明した。中学校では、給食の歴史について、日本と世界の献立を紹介しながら説明した。</p> <p>日本の学校給食が安全で安心であり、給食がたくさんの人達の手をかけて作られていることを知り、子どもたちに給食を食べられることへの感謝の気持ちを持ってもらえれば幸いである。</p>
<p>報告事項4 令和元年度ニュース スポーツ出前教室の結果について</p>	<p>教育長 スポーツ振興課長</p>	<p>報告事項4及び報告事項5について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p> <p>令和元年11月3日から12月21日までの期間で、スポーツ推進委員が各地区に出向いて実施した。今年度も健康づくり推進課の協力のもと、羽生市健康チャレンジ指定事業の一環として、「良質な睡眠に関する講話」を行った。ニュースポーツの体験では、スポーツ推進委員考案の、「パスラグビー」と「ヘルスパレー」を行った。今後も引き続き、スポーツと健康づくりを推進する企画に取り組んでいきたい。</p>
<p>報告事項5 第15回羽生市フロアカーリング大会の結果について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>1月19日に、羽生市体育館にて開催した。市内在住・在勤・在学者を対象とし、96チーム375名が参加した。</p> <p>予選では、6チームの総当たり戦により1位から6位までの順位を決め、決勝は、予選1位から6位までのグループに分かれてトーナメント戦を行った。8歳から93歳までの幅広い年齢の参加があり、和やかな雰囲気の中にも、競技では、熱い戦いを繰り広げ盛大に開催することができた。今後も、フロアカーリングの更なる充実を図り、指導・普及に努めたい。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	報告事項に関して質問・意見を求めた。
	岩崎委員	プレゼンテーションコンクールについては、多くの学校が参加し、盛り上がっていることを感じる。市外からの参加校も増え、羽生の子どもたちの視野が広がったと思う。他校のプレゼンテーションを、出場者以外の子どもたちは見る機会があるか。また、今後の出場校の精選はどのような展開で進めていくのか。
	学校教育課長	事務局としても、色々な人に見ていただきたいという気持ちがある。今年度は、「世界へのメッセージ」というテーマであるため、計画段階から、動画配信サイトのYouTubeに発表の動画を掲載することにより、発信することを検討していた。許可を得られた学校については、動画の配信の準備を進めていきたい。出場校の精選については、現時点で具体策はないが、今年度の状況を踏まえ、適切な対応を考えていきたい。
	教育長	ある学校では、予選会を行って出場者を決め、本番前に全校生徒の前で発表すると聞いている。できれば、羽生の子どもたち全員が、会場で実際の発表を見て学ぶことも必要性を感じる場所である。参加校が増え、午後に観客が減少することもなく、出場者がお互いに学び合っているところが良かったと思っている。今後も、参加校が気持ちよく発表できるよう進めていただきたい。
	平野委員	学校給食について、子どもたちの食品アレルギーの件で、保護者や主治医からの申し出に対応している件数は、どのくらいあるか。また、パンが主食となる日も多いと思われるが、小麦に対するアレルギーがある子どもは何人くらいいるか。卵に対しては、どうか。
	学校給食センター所長	学校給食の献立から、アレルギー物質を含む食材を除去することはできないが、各学校と連携し、アレルギーのある子どもの保護者約40人に対しては、献立表を早めに渡すことにより、アレルギーのある献立は食べず、代替品を家から持参するようお願い

会議事件名	て ん 末	
		<p>している。</p> <p>パンが主食となる給食は、週に1日であるが、小麦アレルギーがあると提供できない。小麦アレルギーがある子どもは、3、4人いると聞いている。卵に対するアレルギーを持っている子どももたくさんいる。自宅から持参することを減らすことができるよう、乳・卵を使用していないパンを、学期に1回程度提供しており、今後も、そのような対応を検討していきたい。</p> <p>平野委員 先日、学校医の研修で食品アレルギーについての講演があり、子どもの頃にアレルギーがあるとされたことで、その食品を食べさせないでいたことが、その子どもにとって非常に不利益になっているケースがあるという話があった。医師や学校、保護者と協力し、将来の食生活や栄養に不具合をきたすことがないよう、本当にアレルギーであるのかを診断して行く必要があると考える。</p> <p>柿沼委員 プレゼンテーションコンクールについては、年々レベルアップしており、大きな舞台で堂々と発表して素晴らしいと思った。</p> <p>今回新設された外国語の部において、西中学校が審査員特別賞を受賞したことはとても良かった。また、最優秀プレゼン清水卯三郎賞を受賞した私立の開智未来高校の語学力の高さに驚いた。内容が深く、広島戦争の話であり、以前、広島呉市に視察に行った際に、平和公園に開智学園の折り鶴が寄贈されており、埼玉県のある学校も、このような学びがあることに感銘したことを思い出した。</p> <p>外国語の部の発表については、英語が話せると感覚的に「凄いな」と思ってしまう。この先、英語が話せれば良いということではなく、内容をしっかり見ていかなければならないと感じた。</p> <p>教育長 柿沼委員の意見には同感である。第4回の課題として、外国語の部では、英語力のパフォーマンスだけでなく、内容をきちんと審査していかなければならないと思う。</p> <p>柿沼委員 先日、全国高校生英語ディベート大会が開催され、さいたま市立の高校も出場していた。英語で伝えるということ、深く掘り</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 令和2年度羽生市教育委員会・教育研究会研究委嘱校一覧(案)について</p>	教育長	<p>下げて取り組んでいる自治体もある。</p> <p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項1について、学校教育課長から説明を求めた。</p>
	学校教育課長	<p>研究を委嘱する期間は2年間とし、委嘱2年目に研究発表をする。令和2年度は、新郷第一小学校と川俣小学校の2校が研究発表を行う。令和2年度から研究を委嘱する学校は、須影小学校、岩瀬小学校、三田ヶ谷小学校の3校である。なお、新郷第二小学校については、緑化教育指定校を委嘱し、各種緑化コンクールに向けて、緑化教育の取組を進めていく。</p>
	教育長	<p>協議事項1について、質問・意見を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>協議事項1については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項1は、承認された旨宣した。</p>
	教育長	<p>協議事項2は、会議を非公開とする。傍聴人はあるか。</p>
	教育総務課長	<p>傍聴人はない。</p>

会議事件名	て ん 末	
閉 会	教育長	<p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>